

4名の学生に 奨学金の給付を 開始しました

2021年度の奨学金は、今年2月から3月にかけて組合員から寄せられた募金を原資としています。わずかな期間にもかかわらず、およそ1万6千人の組合員から、総額1124万5911円もの募金をいただきました。本当にありがとうございます。皆様からの募金は学生への奨学金給付のほか、学生を支える支援団体の支援費として、在学期間中給付します。今年4名の学生がこの制度を利用し、4月から新たに大学生活をスタートさせています。

このニュースレターは、奨学生の様子や伴走支援団体の活動報告、奨学金に関する様々な情報をお届けします。未来を担う若者の「学び」を支える、パルシステム給付型奨学金制度にご理解をいただくとともに、ひとりでも多くの若者を応援していただけますようご協力をお願いします。



※写真はイメージです

伴走支援団体紹介

==今年度は5団体が、奨学生を支えます==

■特定非営利活動法人 ちばこどもおうえんだん(千葉)

様々な事情があり、生まれた家庭で暮らせない社会的養護の子どもたちの自立(就労や進学)を応援しています

■一般社団法人

彩の国子ども・若者支援ネットワーク(埼玉)

生活困窮世帯の子どもたちを対象に、家庭訪問による支援と、学習教室での個別学習支援を柱にした活動を行っています

■特定非営利活動法人

しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島(福島)

ひとり親家庭の親子が心豊かに前向きに生きていけるようサポートしながら活動の輪を広げています

■一般社団法人 若草プロジェクト(東京)

生きづらさをかかえる少女や若い女性たちと、彼女たちを支援する大人たちをつなげ、女の子たちを支援する団体です

■一般社団法人くらしサポート・ウィズ(東京) ※

だれもが暮らしやすい地域・社会を目指して、若者・女性を中心に、社会的に困難を抱えた方への生活相談や居住支援、人材育成の事業を行っています

※奨学金モデル事業伴走支援団体

奨学金の特長

返済不要の「給付型」

対象者には期間中、
毎月4万円を給付します
(在籍する教育機関の所定就学期間)

生活上困難を抱えている学生は、多くの不安を抱えています。実質的な「借金」として将来に影響を及ぼす貸与型ではなく、返済不要の給付型で、奨学生をサポートします

「伴走支援」つき奨学金

奨学生と支援団体を
一緒に支援します

毎月の生活・進路相談や電話等による適時の現状確認など、精神的サポートを伴走支援団体が実施します

募金はすべて、奨学生への「奨学金」、および伴走支援団体の「伴走支援活動費」に充てられます